



富士山世界遺産センター

Fujisan World Heritage Center

施設のご案内

山梨県では、世界遺産である富士山を訪れる多くの訪問者に対して、富士山の顕著な普遍的価値に関する情報発信や、保存管理の中心的な役割を担う「山梨県立富士山世界遺産センター」として、南館を新設し、2016年6月22日にオープンしました。

コンセプト

- 富士山のもつ多様な自然美を感じながら、世界遺産の価値をわかりやすく紹介する中核的施設とする。
- 国立公園内の施設として、富士山や周辺の自然景観に調和した外観や、環境負荷の低減など、環境に配慮した施設とする。
- 主要な展望地点から見た富士山の眺望を損なわないようにするとともに、既存施設との調和に配慮する。



南館（新館：富士山世界遺産センター）



北館（旧館：富士ビジターセンター）

山梨県富士山世界遺産センター

〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663-1

TEL：0555-72-0259 FAX：0555-72-0211

開館時間

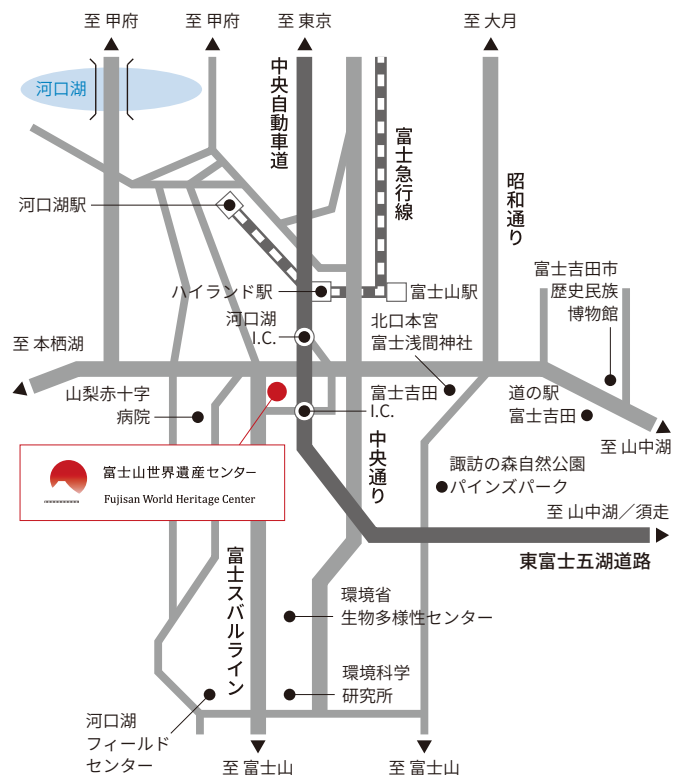
9:00-17:00
(7月～9月 8:30-18:00、12月～2月 9:00-16:00)

休館日

北館 無休、南館 第4火曜日

料金

無料





富士山世界遺産センター

Fujisan World Heritage Center

北館

富士山世界遺産センターの北館は富士山の総合案内所です。富士山や富士五湖周辺などの観光に役立つ情報をご紹介します。

北館2F

富士山世界遺産センターの北館は富士山の総合案内所です。富士山や富士五湖周辺などの観光に役立つ情報をご紹介します。

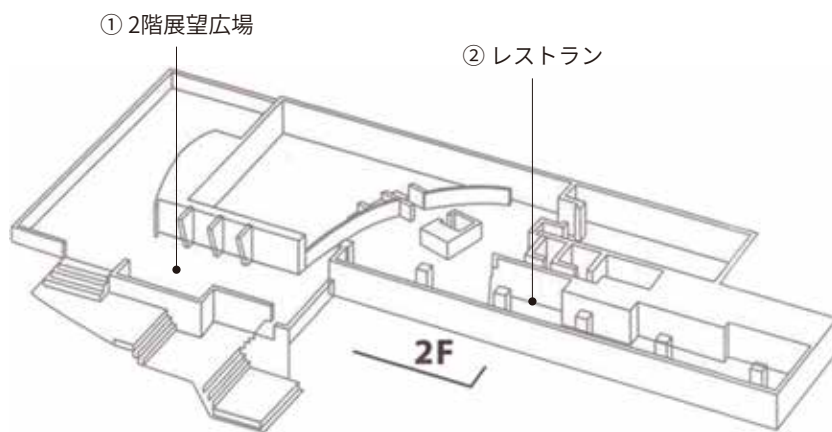
① 2階展望広場

目の前に広がる雄大な富士山を堪能できます。



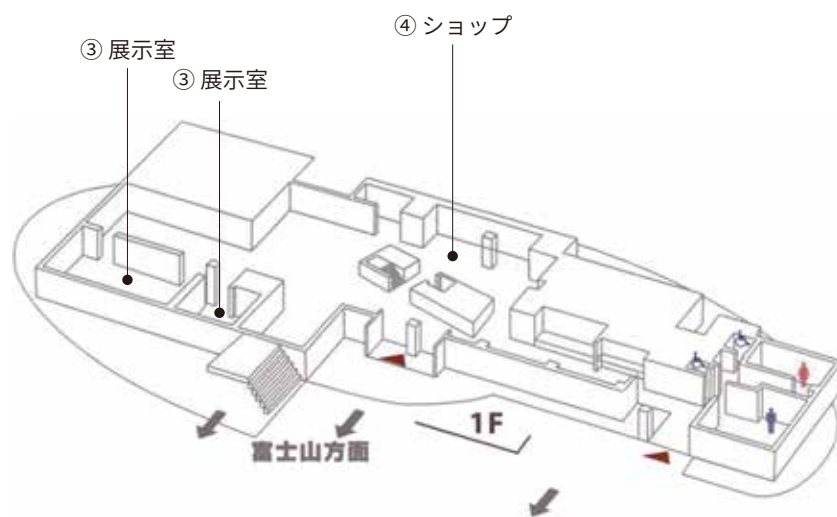
② レストラン

富士山を眺めながらひと休み。
テイクアウトメニューも充実しています。





北館1F



③ 展示室

・信仰展示ゾーン

古来からの信仰の対象であった富士山。富士山と富士山周辺の世界遺産構成資産をご紹介します。

・自然展示ゾーン

富士山と周辺の自然史や特色をわかりやすく紹介しています。

・芸術展示ゾーン

富士山を題材にした、様々な創作活動について紹介しています。



④ ショップ

富士山・山梨ならではのお土産品を販売しています。



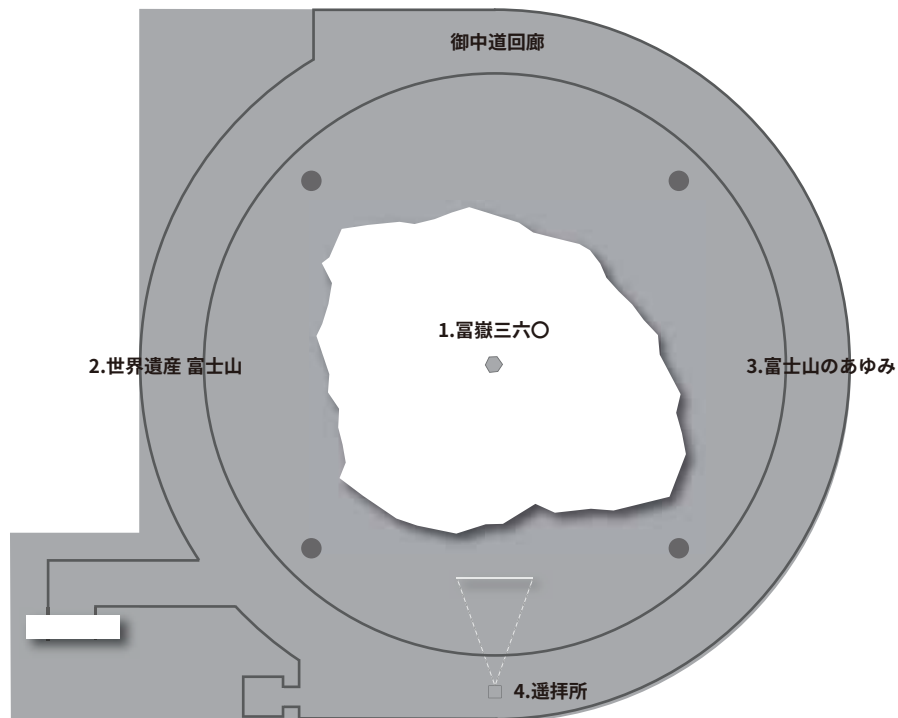


南館

富士山世界遺産センターの南館は、富士山の自然と人との関わりを来館者に体感してもらい、それを共有・共創できる場として2016年6月に新設されました。

南館2F

1/2



世界文化遺産 富士山の全体像を 自然と人との関わりの視点から俯瞰

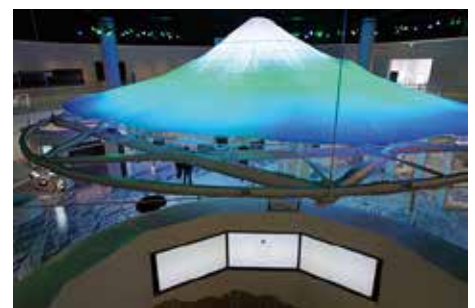
エリア1／世界遺産 富士山を知る

1.富嶽三六〇

富士山を360度・全方位から見られる巨大オブジェです。一日の時間の流れや季節の移り変わりによってさまざまな表情を見せる富士山の姿を照明演出であらわしています。

2.世界遺産富士山

世界遺産の内容や、富士山が世界遺産に登録されるまでの歩みをつたえます。



1.富嶽三六〇

南館2F 1/2



南館2F

2/2

御中道回廊

富士山中腹に今も残る信仰の道「御中道」をイメージした回廊です。富士山をとりまく独特な自然環境と信仰をはじめとした人々の関わりを、音と光の演出であらわしています。

3.富士山のあゆみ

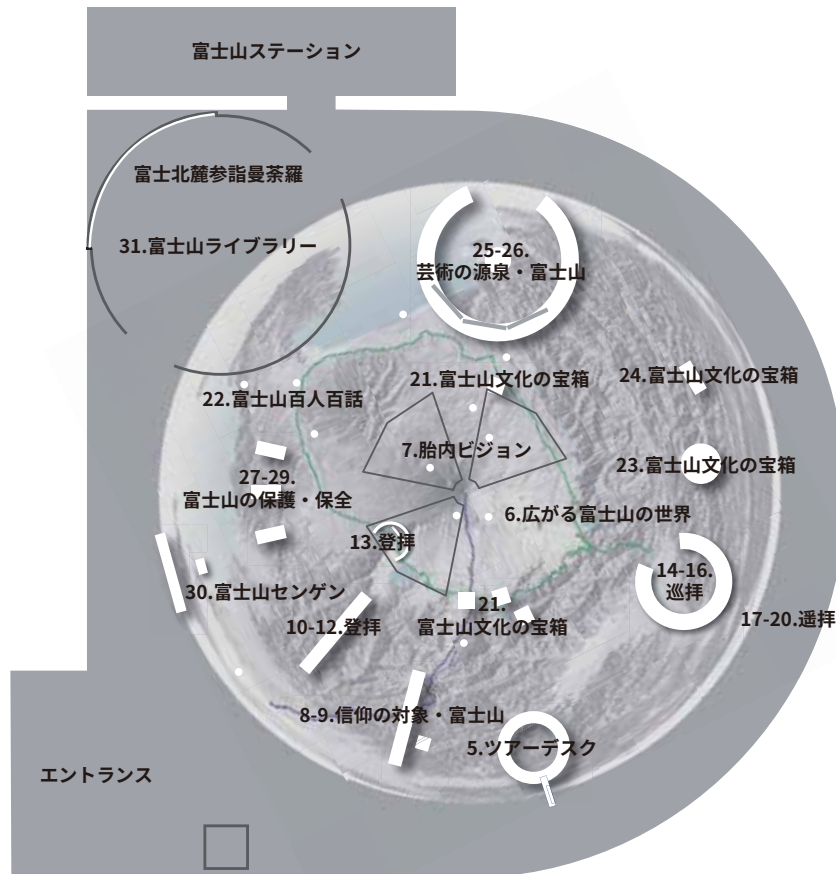
約一万年前から現在にいたる富士山の歴史をつたえます。

4.遥拝所

火山活動や天候の変化などの富士山ならではの自然環境と人々の関わりを約8分の映像で紹介します。



御中道回廊



信仰の対象・芸術の源泉としての富士山
自然環境と融合して生まれた、その文化的価値を明らかにする

エリアII／信仰の対象・芸術の源泉

エリアIII／富士山世界を体感する

エリアIV／富士山を未来へ

エントランス

ガラス越しに見える岩の塊は富士山から噴きだした溶岩流が冷え固まったもので「丸尾（まるび）」と呼ばれています。「登拝ゲート」は展示室への入口です。

5. ツアーデスク

イベントの予定や展示の楽しみ方をスタッフが案内します。



エントランス



南館1F

2/3

6.広がる富士山世界

直径21.5mの巨大な地図が、山頂を中心にした、構成資産と富士山文化の広がりであらわしています。

7.胎内ビジョン

「富嶽三六〇」に内蔵したスクリーン映像で、富士山の女神伝説や、時代によって変化する富士山信仰のかたち、富士山を描いた古今東西の芸術を紹介します。

8-9.信仰の対象・富士山

富士山信仰の移り変わりを、古代から中世・近世・近現代の時代に沿ってつたえます。

10-12.登拝

山頂をめざして登り、拝む富士山信仰のかたち・登拝（とはい）の姿をつたえます。

14-16.巡拝

富士山信仰ゆかりの地をめぐる拝む、山頂を一周する八葉（はちよう）めぐり、中腹を一周する御中道（おちゅうどう）めぐり、麓に点在する湖沼をめぐる内八海（うちはっかい）めぐりの姿をつたえます。

17-20.遙拝

はるか遠くからのそみながら祈りをささげる富士山信仰のかたち・遥拝（ようはい）の姿をつたえます。

21-24.富士山文化の宝箱

神社をはじめとした代表的な構成資産を、特徴的なお祭りや建造物などに注目してつたえます。

25-26.芸術の源泉・富士山

日本人のみならず、海外の芸術家にも表現されてきた富士山の姿を、文学作品と美術作品でとらえます。

27-29.富士山の保護・保全

富士山が直面している課題と向きあい、活動している人々や、伝統文化を受け継ぐ人々を紹介します。



7.胎内ビジョン



10-12.登拝



21-24.富士山文化の宝箱



南館1F

3/3

30.富士山センゲン

来館者のみなさんがつくる展示です。富士山を守るためにできることや思うことを、ことばにして投稿してください。投稿されたことばは展示室内で見られるほか、スマートフォンやパソコンからも見られます。

31.富士山ライブラリー

富士山をより深く知りたい、現地に行ってみたい、などなど、来館者のみなさんの興味・関心の広がりにつくる様々なジャンルの本を手にとることができます。

富士北麓参詣曼荼羅（ふじ ほくろく さんけい まんだら）

山梨県立富士山世界遺産センターの開館にあたり、現代日本を代表する画家・山口晃さんが北麓から見た富士山を描いたオリジナルの絵画作品です。

富士山ステーション

期間限定の特別展示や、講演会・ワークショップなどがおこなわれます。



30.富士山センゲン